

経営比較分析表（令和6年度決算）

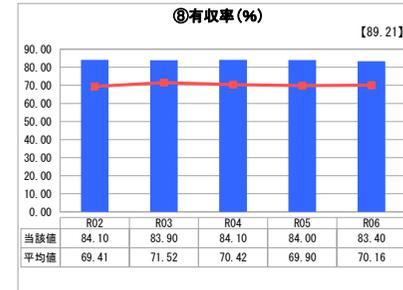
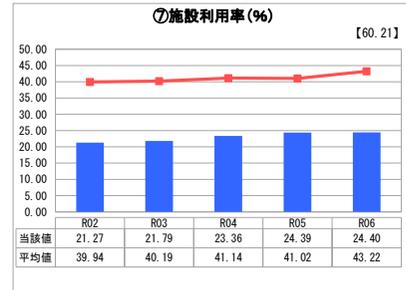
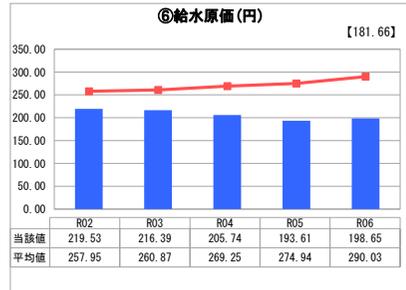
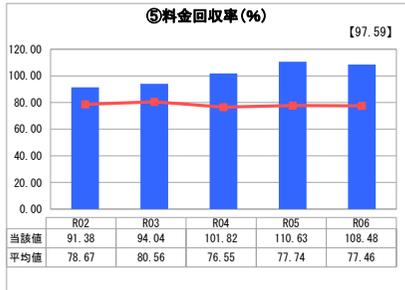
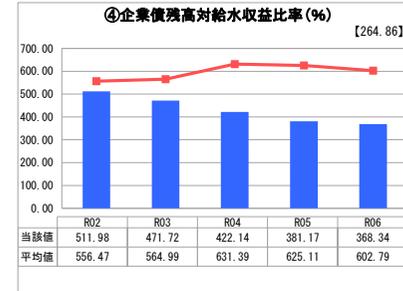
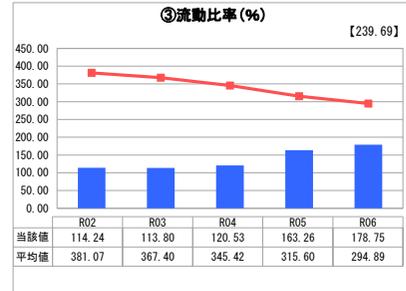
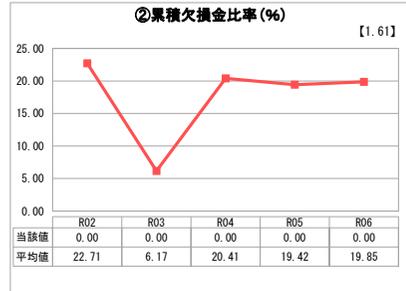
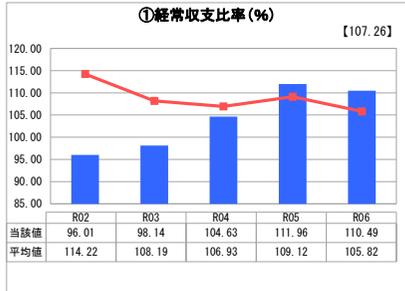
神奈川県 箱根町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A9	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	66.27	41.62	1,870	

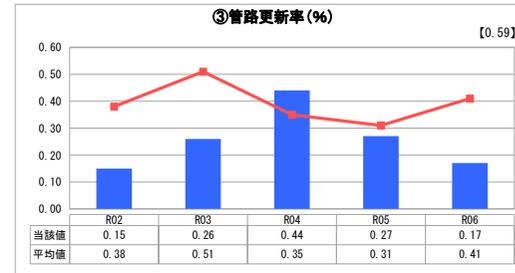
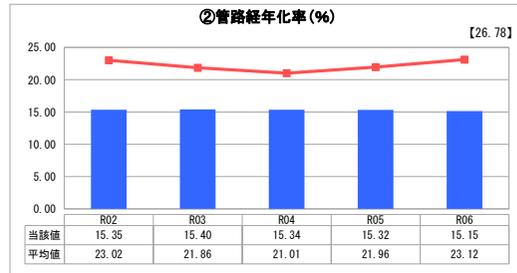
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,835	92.86	116.68
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,481	52.79	84.88

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を上回り、単年度の収支は黒字となり、②累積欠損比率についても引き続き0%となっています。
 ③流動比率は100%を上回り、年々数字は上がっています。類似団体平均値及び全国平均は下回っていますが、短期的な債務に対する支払い能力はある状況です。
 ④企業債残高対給水収益比率は利率の高い企業債の償還が進んだため減少傾向にありますが、今後は新たな償還が始まる状況です。
 給水収益の約7割を業務用が占めていますが、大手旅館等の休業等があり、⑤料金回収率は、前年度より減少したものの引き続き100%以上となっています。また、⑥給水原価は、経常費用が増加したものの有収水量が減少したため昨年度より増加しました。
 ⑦施設利用率は、年々数字は上がっていますが、当町は観光地であるため、住民のほか季節変動が大きい宿泊施設等の最大需要に対応する必要があり、通年での施設利用率は低くなっている状況です。
 ⑧有収率は例年横ばいであり、類似団体平均値と比べ高くなっていますが、引き続き効果的な漏水修理等を実施し、改善に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産原価償却率は類似団体平均値より高く、老朽化が進み、更新が進んでいない状況です。②管路経年化率や③管路更新率は、団体平均値より低くなっており、近年の管路更新が十分に進んでいない状況となっています。管路更新率等の低迷については、財源、経験豊富な技術職員不足の問題等があります。職員の育成を図るとともに改修実施を効率的に行うための官民連携手段である設計施工管理委託などを活用し、単年度に実施できる箇所数と更新距離を延していくことを検討するとともに、施設の計画的な更新や長寿命化を推進していきます。

全体総括

令和6年度は、収益的収支においては昨年度に引き続き観光需要が好調に推移し、給水収益も同様に上向き傾向にありましたが、大手旅館・ホテル等の休業等により減となりました。事業費用では、動力費や委託料等の増加はありましたが、その他経費については極力節減に努めたものです。
 今後、「箱根町水道ビジョン」及び「箱根町水道事業アセットマネジメント計画」の見直しを行うことで水道施設の規模及び配置の適正化を考慮した更新需要の見直しを行うとともに健全な経営を維持していくため「箱根町水道事業経営戦略」の見直しに基づき、料金改定の時期や方向性を検討していきます。